

## 1 はじめに

福島高等学校は、本年度より連携型中高一貫教育校となっており小中学校のみならず地域との結びつきも強く持つことが出来ている。学校設定教科「地域創生学」を設定し、地域の課題をリサーチし、研究のテーマを自分たちで決め、市役所等に情報提供や助言も求めながら検証し、考察結果を発表している。また、本校は主権者教育の一環で、全校生徒による模擬選挙も行うなど、小規模だからこそできる教育を実践している。NIE教育1年目の本校の実践を報告したい。

## 2 学校としての取り組み

- NIE教育実践者として2名の職員が任命されており、学校要覧にも載せてある。
- 本校は1学年3学級の12学級である。多くの生徒にNIEの新聞を利用してもらうため、新聞は図書館で整理保管することにした。ただし、そのようにすると、図書館まで足を運ばないと、新聞を目にすることができなくなってしまう。そこで、図書委員会を中心に工夫をした。
- 「現代社会」「国語」を中心として新聞を活用した授業を展開した。

## 3 実践事例

### A 主権者教育における新聞記事の活用

模擬選挙を行うためには、公約等を知らなくてはならない。そのために朝課外を利用して新聞記事を読んだ。

### B NIEに関する図書委員会による取り組み

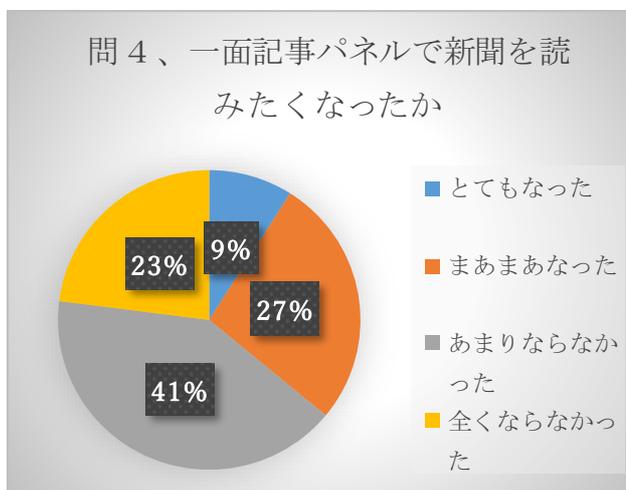
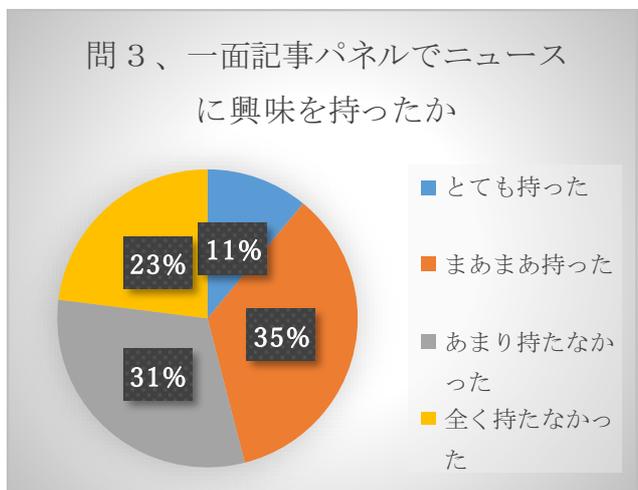
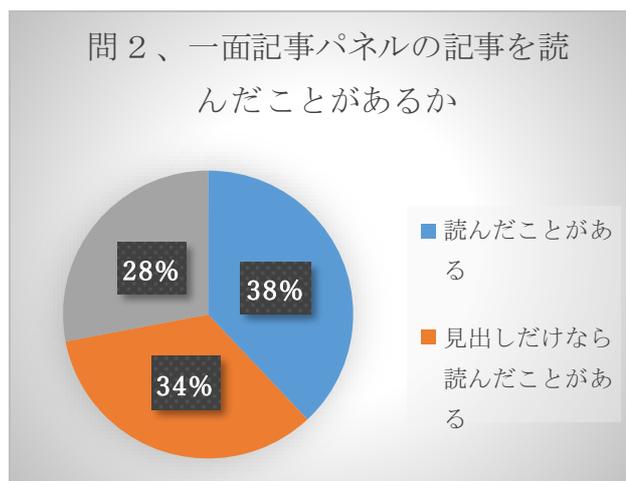
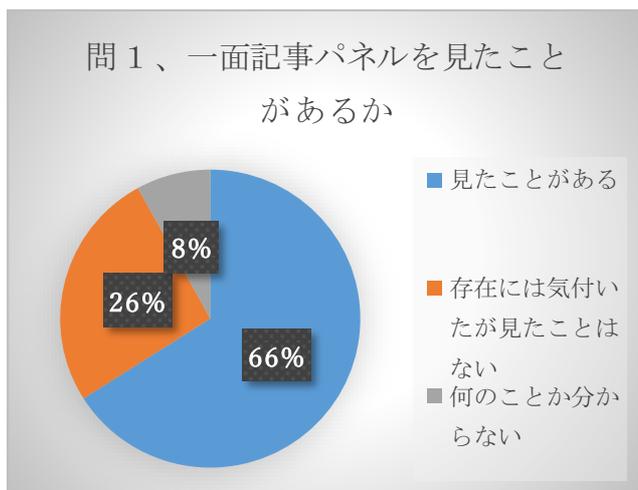
- 1 目的 普段新聞を読むことのない生徒たちが少しでも新聞に触れる機会を生徒側から作ることで、現代社会に対する興味関心を高めてもらう。
- 2 内容 各学年の下足室付近に掲示パネルを用意し、新聞の一面記事（3カ所とも違う新聞を利用）を図書委員が用意して毎日掲示する。

### 3 取組の様子



### 4 評価

#### (1) アンケート調査



#### (2) 生徒の感想

- ・目につくところにあるので、世の中の出来事を知る機会になった。
- ・今まで新聞を読んだことが無かったので、見やすいところにあるのはいいと思う。
- ・あまり目立たないので、カラーにしたりマーカーをつけたりして目立たせたほうが見る気になる。

## C 「現代社会」の授業実践例

### (1) 新聞スクラップを2ステップで実施（週に1時間）

#### ①整理ノート

～記事の内容を矢印などを使って図でまとめ直す。

#### ②質問力ノート

～「自分の疑問点や質問」を書く。

参考文献：『新聞力 できる人はこう読んでいる』齋藤孝・著 ちくまプリマー新書

### (2) 衆議院議員総選挙における各党・立候補者の比較ポスター作成



※授業の冒頭に時事ネタについて話し合う時間（スピーチやニュースクイズ等）を設定している。

## 3 実践前後の変化

- ・実践時間が増えるにつれて、記事選びの視点が多様になった。
- ・世の中の動きにわりと興味をもち、目を向けるようになった。
- ・意見を聞くと、何かしらの答えが返ってくるようになった。
- ・自分の進路希望と照らし合わせ、記事を選び、考えるようになった。
- ・自分の意見に説得力が増し、面接試験への準備に生かされた。

## 4 実践の感想

- ・生徒はこれまでほとんど新聞を読んだことがないようで、最初は読むことに疲れている場面もあったが、徐々に楽しんで取り組むようになった。
- ・新聞に触れる機会があることで、社会の出来事をこれまでより知ることができた。（生徒の感想より）

## 5 今後の課題

- ・生徒にとって魅力のある記事の選定と活用
- ・適切な評価方法の研究・改善
- ・学校全体としての取り組みの充実と実践の共有
- ・記述する力をどのように向上させるか。
- ・新聞を読みやすい環境の設定

## D 「国語」の授業実践例

### 1 月に一回新聞記事の切り抜き（写真1・2）

一人につき、3つの記事を切り抜くように指示。

内容については、あまりタイムリー過ぎないもの、みんなが読んでためになるものを選ぶように指示した。最初はうまく選べなかったが、毎月切り抜きをかさねることで、出来るようになった。

#### 【用途】

- ① 学級日誌のテーマ（写真3）\* 国語の教科担任がクラス担任だったため
- ② 学級通信の裏につけた。\* 国語の教科担任がクラス担任だったため
- ③ 長期休暇課題・週末課題で感想を書かせる。  
新聞記事を貼って、感想を書く。（写真4）



←（写真1・2）

（写真3）↓



←（写真4）



（写真5）→

#### （成果と課題）

NIE用の新聞自体は、かなり活用させていただいた。新聞切り抜きを利用して、とにかく新聞記事を読ませた。そのことで、生徒が社会に目を向けるきっかけができたと感じている。なかには、留学のための面接で「日本で問題になっていること」という題が出たときに、新聞記事を使った学習が非常に役に立ったと喜んでいた生徒もいた。

課題としては、まだ担当教諭個人としての取り組みという面が強く、全校で取り組んでいるわけではない印象が強いことである。また、教室に（写真5）のように、教室に中高生新聞を置いているクラスがあるが、（NIE用の予算で購入している物では無い。）このように教室に新聞を置くことでよりよい効果をもたらすことが考えられるので、新聞の置き場所についても考えたい。